

[所 感]

長崎市議会議員 鶴田 誠二

福州市に到着から帰国まで行く先々で歓迎の横断幕やさらには歓迎レセプションなど関係者の熱烈な歓迎を受けました。また、人口規模が長崎市の15倍近くという大規模な都市であるにも関わらず、初日には袁栄祥共産党福州市委員会書記を筆頭に蘇増添福州市長ほか要人が多数出席のもとにトップ会談とレセプションが行われたことに友好都市提携の重みを感じることができました。

翌日には閩江南公園において記念植樹を行いました。公園の広さや整備にも驚きましたが、わずか30分程の記念植樹式にも関わらず、会場の設営、記念樹木の大きさや説明を刻んだ岩の大きさなど、すべてにおいて壮大に感じました。

また、まちづくりにおいては説明のとおり街中が再開発により至るところで工事が行われており、急速な都市発展を遂げていることも強く印象に残りました。

一方では三坊七港の修復に莫大な予算を投じ、歴史を活かした街づくりにも取り組んでおり、歴史文化の保護を重視する国・都市の姿勢に共感しました。

今回の訪問団は、30周年の節目の記念事業として行われ、公式訪問団は4つのコースでそれぞれ交流を行いました。両市の政策に活かすべきところの成果も多くあり、友好関係がさらに深まることを確信した訪問でありました。